

## 今年のお中元は“贈るヘアケア” 「スカルプDのお中元ギフト」好評発売中 ～フケについての正しい頭皮ケア方法教えます～

アンファー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:三山熊裕以下「アンファー」)は、日頃お世話になっている方へ、夏の頭皮ケアを贈る「スカルプDのお中元ギフト」をWEB限定で発売しています。

さらに、この時期に悩みが増えるフケについての正しい頭皮ケア方法を、予防医学のアンファーが主宰する専門ドクター監修のエイジングケア総合情報サイト「アンファーからだエイジング」(<http://www.karada-aging.jp/>)よりお届けします。

### スカルプDのお中元ギフト 概要

<キャンペーン期間>

2018年6月18日(月)10:00～8月17日(金)9:59

<対象商品>

スカルプD 薬用スカルプシャンプー&スカルプパックコンディショナーセット3種  
【ストロング(超脂性肌用)/オイリー(脂性肌用)/ドライ(乾燥肌用)】  
スカルプD ボーテ 薬用スカルプシャンプー&トリートメントパックセット3種  
【ボリューム(脂性肌用)/モイスト(乾燥肌用)/エイジング(混合肌用)】

金額:各7,800円

<販売チャネル>

WEB限定(楽天,Yahoo!,Wowma!,d shopping,自社EC)

楽天市場店「アンファーストア」:[https://item.rakuten.co.jp/angfa/c/0000000781/#page\\_top](https://item.rakuten.co.jp/angfa/c/0000000781/#page_top)

Yahoo!ショッピング店「アンファーストア」:<https://store.shopping.yahoo.co.jp/angfa/a4aac3e6b82.html>

※自社ECサイト以外は、全国送料無料・ラッピング無料

自社EC「アンファーストア」:[https://www.angfa-store.jp/campaign/summer\\_gift](https://www.angfa-store.jp/campaign/summer_gift)

※自社ECサイトのみその他商品のお取り扱いがございます。

※自社ECサイトはラッピング無料、一部送料無料



### 夏のフケは薄毛のサイン!? 暑い季節こそ頭皮ケアで女っぷり、男っぷりを上げよう

夏の薄毛は、フケの“毛穴詰まり”が原因だった!

そもそも、夏にフケが増えるのはなぜなのか? 髪とフケの関係に詳しい  
脇坂クリニック大阪 院長・脇坂長興先生に伺いました。

「夏は汗をかくので、新陳代謝が早くなります。新陳代謝が早くなるということは、頭皮のターンオーバーが促進され、いつもより古い角質が溜まりやすくなるということ。そこに頭皮の常在菌と、大量の汗や皮脂が混ざり合うことで、夏場はベタついたフケが発生しやすくなるのです。また、古い角質の蓄積によって保湿能力がダウンした表皮は、パラパラとした乾燥性のフケが出やすい状態。特に夏場のエアコンの効いた室内は空気が乾燥しがちなため、古くなった角質がパラパラと剥がれ落ちやすくなるので気をつけて」。



<https://www.karada-aging.jp/practice/natsuhuke/>

つまり、夏はベタついた脂性フケとパラパラとした乾燥性のフケのどちらも発生しやすいという悩ましい季節のよう。では、フケが溜まるとどんなトラブルが起こるのでしょうか? 「皮脂やフケが過剰に作られやすい夏は、頭皮の毛穴が詰まりがちになり、健やかな毛髪の成長の妨げに。特に脂性フケが紫外線で酸化すれば、活性酸素が発生して毛根が萎縮、抜け毛の原因になります。フケそのものが直接薄毛の原因というわけではありませんが、頭皮と毛穴を清潔に保ておかないと、結果として薄毛につながっていくことは確かです」と脇坂先生。

【本件に関するお問合せ先】

アンファー株式会社 広報課 外園

E-mail:pr1@angfa.jp TEL:03-3213-8882 FAX:03-5215-6155

## 男は“脂性フケ”、女は“乾性フケ”に気をつける！

脇坂先生によると、男性と女性とでは出やすいフケに違いが見られるのだそう。

「女性の多くが、バラバラとした粉っぽい乾性フケ。その理由は、“女性ホルモンの変動”にあります。加齢によるホルモンバランスの乱れは肌の水分保持能力に大きく影響するため、女性ホルモンが減少する40代以降は特に乾性フケが起きやすくなるのです」(脇坂先生)

一方、指で触るとベタベタする脂性フケは、圧倒的に男性に多いのだとか。

「脂性フケが男性に多く見られるのは、男性ホルモンが皮脂腺を刺激し、皮脂をどんどんつくり出すため。食生活やホルモンバランスの乱れなどで皮脂が過剰になると、それを餌とするマラセチアという常在菌が頭皮で増殖。その結果、頭皮環境が悪化し、脂漏性湿疹が発症、ベタッと頭皮に張り付く脂性フケが発生するのです」(脇坂先生)

女性が男性と同じように活躍する現代社会では、女性の脂性フケが増えているそう。「仕事ばかりしてるからヒゲが生えてきそう～」と自虐的になっている人、冗談抜きにヒゲより先に薄毛にもなってしまう可能性も。女つぷりを上げるためには、ライフスタイルからの見直しも必要といえそうです。

## フケタイプ別・正しい頭皮ケア法をマスター！

### 【脂性フケ】

頭皮の健康は潤いがキープされていてこそ成り立つもの。だから頭皮がオイリーだからといって、洗浄力の強いシャンプーを使えば良いというものではありません。頭皮の皮脂は、量が正常なら頭皮を守る天然の保湿クリームのようなもの。落としすぎはかえって過剰な皮脂を招きフケを増加させます。まずは泡立ちの良いシャンプーを使い、頭皮を指先で擦り過ぎないように気をつけながら、毛穴に詰まった皮脂をシャンプーの泡の中に溶かし込むようなイメージで優しく丁寧に洗いましょう。シャンプー後にはスカルプ用のコンディショナーやスカルプ用のパックで頭皮と髪の保湿を心掛けましょう。

### 【乾性フケ】

頭皮が乾燥しすぎているときは、頭皮用の保湿剤やUVケアが有効。頭皮だけなら顔やボディ用のものでも構いませんが、ボディ用UVケア剤の中には髪の毛に付くと髪の毛のキューティクルを傷めて折れ毛や切れ毛になりやすいものもあるため、やはり髪や頭皮専用のケア製品を使うことが無難です。髪や頭皮用のものは、保湿と同時に髪の毛のツヤやコシをアップする効果もあります。

どこに行ってもエアコンの効いている夏は、汗・皮脂による脂性フケと、エアコンなどによる乾性フケが混合した状態になるので、その時々頭皮の状態を良く見極めて、正しいケアができるようにしておきましょう。

## 【本資料の監修医】



脇坂 長興 (わきさか なおき)

医学博士、日本形成外科学会専門医、麻酔科標榜医、脇坂クリニック大阪院長、脇坂ウィメンズヘルスクリニック大阪院長、聖マリアンナ医科大学卒業。同大学形成外科でskin rejuvenationを研究。医学的方法論よりも患者様自身にとって一番良い治療を提供することが形成外科医の使命であると考えている。

## 『アンファーからだエイジング』は、専門医師監修による、エイジングケア総合情報サイトです！

アンファーは、「予防医学」をタグラインに掲げ、“いつまでも美しく、健やかに生きる”というエイジングケア・ライフスタイルの実現を支援すること。”という企業理念のもと、すべての人々に「美」と「健康」の提供を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。からだエイジングでは、多くの方に正しく楽しいエイジングケアの情報をお届けする情報を展開しています。身近に起きている(またはこれから起こりうる)カラダの変化と、対処方を専門ドクターが紹介。カラダの変化に気づく事で、不安を解消したり、早めの対処ができる情報を配信しています。

アンファー  
からだエイジング

専門ドクター監修アンファー からだエイジング  
<http://www.karada-aging.jp/>

< 報道関係者のみなさまへ >

本資料におけるデータなどご使用される場合は、出典元として

「アンファー からだエイジング (<http://www.karada-aging.jp/>)」を記載くださいますようお願い申し上げます。